



財産収支状況書

記載例

申請書を提出する日を記載します。
郵送で提出する場合は、郵便を投函する日を記載します。

令和3年3月22日

1 住所・氏名等

住所所在地	〒***-**** 板野郡藍住町*-**-*	氏名称	藍住 太郎
-------	---------------------------	-----	-------

2 現在納付可能資金額

現金及び預貯金等	預貯金等の種類	預貯金等の額	納付可能金額	納付に充てられない事情
現金		50,000円	0円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input checked="" type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他
銀行支店	普通	100,000円	0円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input checked="" type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他
現在納付可能資金額		円	円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他
申請書を提出する日現在において、直ちに納付することができる金額を記載します。		円	円	<input type="checkbox"/> 運転資金 <input type="checkbox"/> 生活費 <input type="checkbox"/> その他
現在納付可能資金額			0円	

3 今後の平均的な収入及び支出の見込金額(月額)

区	分	見込金額
収入	売上、給与、報酬	150,000円
	その他()	円
① 収入合計		150,000円
支出	仕入	50,000円
	給与、役員給与	円
	家賃等	円
	諸経費	50,000円
	借入返済	30,000円
	生活費(扶養親族 人)	円
② 支出合計		130,000円
③ 納付可能基準額 (① - ②)		20,000円

4 分割納付計画

月	分割納付金額	備考
3月	20,000円	
分割納付金額		20,000円
「3 今後の平均的な収入及び支出の見込額(月額)」欄の「③納付可能基準額(①-②)」をもとに、具体的な納付計画を記載します。この欄に記載した納付計画は申請書の「納付計画」欄に転記します。		
7月	20,100円+延滞金	
月	円	
月	円	
月	円	
今後の平均的な収入及び支出の見込額(月額)		
猶予期間中における月単位の平均的な収入及び支出の見込金額を税込み金額で記入します。この欄で計算した「③納付可能基準額(①-②)」を元に「4 分割納付計画」欄に記載します。		
・生活費(納税者が個人の場合のみ)		
計算期間に支出する納税者及び納税者と生計を一にする配偶者その他の親族の生活費として、次のA又はBのいずれかの方法で計算した金額を記載します。		
A 納税者及び納税者と生計を一にする配偶者その他の親族の生活費として、(イ)納税者本人につき10万円、(ロ)生計を一にする配偶者その他の親族1人につき4万5千円の合計額		
B 実際に支払った食費、家賃、水道光熱費などの金額を具体的に把握している場合は、それらの金額のうち、生活費として通常必要と認められる金額を積算した金額		

5 財産等の状況

(1) 売掛金・貸付金等の状況

売掛先等の名称・住所	売掛金等の額	回収予定日	種類	回収方法
A株式会社	50,000円	令和3.4.31	売掛金	振込
	円			

(2) その他の財産の状況

不動産等	
車両	営業用車両1台(*****)

(3) 借入金・買掛金の状況

借入先等の名称	借入金等の金額	返済予定年月	追加借入の可否	供財産等
〇〇銀行▼支店	300,000円	30,000円 令和3年12月	可・否	
	円	円	年 月	可・否

財産等の状況

「(1) 売掛金・貸付金等の状況」欄

売掛金・貸付金等の状況について、売掛先等の名称、住所、回収予定日、種類及び回収方法を記載します。

「(2) その他の財産の状況」欄

不動産、国債、株式等の有価証券、車両など、所有している財産の種類、数量、所在等を記載します。

「(3) 借入金・買掛金の状況」欄

借入先等の名称、借入総額、月額返済額、返済終了(支払)年月、追加借入の可否及び担保提供財産等を記載します。

※「追加借入の可否」欄には、借入の枠が残っているなど、追加借入ができる場合には「可」に、できない場合には「否」に○印をつけます。供財産等